



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社
 コード番号 9880 URL <https://www.innotech.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大塚 信行
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長兼財務経理部長 (氏名) 奥津 明洋 TEL 045-474-9000
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	9,036	△2.1	343	△57.8	550	△42.3	265	△58.4
2022年3月期第1四半期	9,228	36.1	812	815.2	954	372.8	640	669.0

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 423百万円 (△58.8%) 2022年3月期第1四半期 1,026百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	20.29	19.77
2022年3月期第1四半期	50.24	47.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	42,396	23,110	52.3
2022年3月期	40,541	23,167	54.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 22,184百万円 2022年3月期 22,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	ー	30.00	ー	35.00	65.00
2023年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2023年3月期(予想)	ー	35.00	ー	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	4.7	2,650	2.5	2,700	△9.5	1,700	△22.5	129.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	13,700,000株	2022年3月期	13,700,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	591,818株	2022年3月期	591,818株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	13,108,182株	2022年3月期1Q	12,740,449株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和に伴い社会経済活動の正常化が徐々に進み、個人消費の回復などにより景気に持ち直しの動きがみられたものの、サプライチェーンの混乱による部材供給難、急激な円安の進行やウクライナ情勢等を背景とした資源価格の高騰や物価高が懸念されるなど、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、半導体設計関連や決済端末の販売が概ね堅調に推移したものの、主に自社製テストシステムの販売が前年同期実績には及ばなかったことなどから、売上高9,036百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益343百万円（同57.8%減）、経常利益550百万円（同42.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益265百万円（同58.4%減）となりました。

報告セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

〔テストソリューション事業〕

テストソリューション事業は、半導体メモリー市場等の顧客を中心に当社グループのエンジニアリング力を活かし、高付加価値製品の提供に注力するとともに、顧客ニーズに対応した製品の開発、新規市場の開拓に積極的に取り組んでまいりました。当事業においては、半導体不足に伴う一部部材の長納期化や価格高騰の影響を受けましたが、設計変更による代替部品への切り替えや新規調達先開拓などの対応により影響の最小化に努めてまいりました。自社製テストシステムは、メモリー向けテスターの国内販売が堅調に推移したものの、海外向けの減少などにより、前年同期実績には及びませんでした。台湾のSTAr Technologies, Inc. は、プローブカードの需要が堅調に推移したものの、部材調達難や研究開発投資、事業拡大に伴う人員増などにより収益性は低下しました。

その結果、当事業の売上高は3,208百万円（前年同期比10.1%減）、セグメント利益は150百万円（同71.4%減）となりました。

〔半導体設計関連事業〕

半導体設計関連事業は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和により社会経済活動の正常化が徐々に進んでいるなか、インターネット等を活用した営業活動に加え、対面での営業活動を徐々に再開し、売上拡大及び収益の安定化に努めてまいりました。主力商品の半導体設計用（EDA）ソフトウェアは、新規顧客への販売が増加したほか、既存顧客からの受注が伸長したことなどにより増収となりました。三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、海外事業が増収となったことに加え、国内における主力顧客の需要も高水準が続いたことにより堅調に推移いたしました。また、株式会社モーデックのシミュレーションモデル製品販売や設計支援サービスも半導体や自動車関連向けを中心に概ね堅調に推移いたしました。

その結果、当事業の売上高は3,343百万円（前年同期比13.5%増）、セグメント利益は164百万円（同0.6%減）となりました。

〔システム・サービス事業〕

システム・サービス事業は、当社グループのエンジニアリング力を活かし、特徴ある製品の開発やサービスの提供に注力してまいりました。当事業においても、半導体不足やサプライチェーンの混乱等による一部部材の長納期化や価格の高騰が続いておりますが、先行手配や新規調達先開拓、代替部品への変更などの対応により影響の最小化に努め、また、引き続き感染防止対策を徹底した上で展示会へ出展するなど積極的な営業活動を行ってまいりました。アイティアアクセス株式会社は、社会経済活動の正常化などに伴い決済端末の需要が回復し増収となりました。一方、自社製CPUボードやBOX型コンピューターなどの組込み製品は、一部部材調達の遅れなどにより減収となりました。ガイオ・テクノロジー株式会社は、自動車関連の需要が本格的な回復に至らないなか、車載向け組込みソフト検証ツール販売は堅調に推移したものの、エンジニアリングサービスが伸び悩み前年同期実績には及びませんでした。株式会社レグラスは、AIカメラシステムの量産販売が低迷し減収となりました。

その結果、当事業の売上高は2,484百万円（前年同期比8.4%減）、セグメント利益は191百万円（同43.1%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は42,396百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,855百万円増加いたしました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産や仕掛品、原材料が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は19,286百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,912百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が減少したものの、前受金が増加したことなどによるものであります。

純資産は23,110百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が増加したものの、利益剰余金が減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は52.3%となり、前連結会計年度末に比べ2.5ポイント減少いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,664,498	6,715,705
受取手形、売掛金及び契約資産	8,826,491	9,566,725
商品及び製品	3,491,775	3,496,062
仕掛品	1,229,036	1,488,149
原材料	1,380,964	1,508,956
その他	1,602,755	2,279,238
貸倒引当金	△5,790	△5,267
流動資産合計	23,189,730	25,049,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,562,810	8,658,835
減価償却累計額	△5,078,938	△5,146,273
建物及び構築物 (純額)	3,483,872	3,512,562
土地	5,832,882	5,832,882
その他	3,840,409	4,048,509
減価償却累計額	△2,315,036	△2,445,304
その他 (純額)	1,525,373	1,603,205
有形固定資産合計	10,842,129	10,948,650
無形固定資産		
のれん	1,212,345	1,175,319
その他	1,211,707	1,246,638
無形固定資産合計	2,424,053	2,421,958
投資その他の資産		
投資有価証券	1,771,486	1,706,908
その他	2,313,828	2,269,686
投資その他の資産合計	4,085,315	3,976,595
固定資産合計	17,351,497	17,347,204
資産合計	40,541,227	42,396,775

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,333,841	2,185,944
短期借入金	5,169,227	5,370,836
1年内返済予定の長期借入金	480,016	480,016
未払法人税等	542,083	254,646
前受金	2,563,282	5,058,873
賞与引当金	303,804	366,398
役員賞与引当金	2,160	14,252
その他	2,217,823	1,847,185
流動負債合計	13,612,239	15,578,153
固定負債		
社債	2,200,000	2,200,000
長期借入金	753,296	633,292
役員退職慰労引当金	155,362	160,004
退職給付に係る負債	267,859	288,212
その他	385,234	426,454
固定負債合計	3,761,751	3,707,963
負債合計	17,373,991	19,286,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	4,228,916	4,228,916
利益剰余金	7,950,878	7,758,082
自己株式	△681,517	△681,517
株主資本合計	22,015,436	21,822,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65,744	67,207
繰延ヘッジ損益	△93,248	△13,340
為替換算調整勘定	233,787	314,711
退職給付に係る調整累計額	△7,886	△7,087
その他の包括利益累計額合計	198,397	361,490
新株予約権	128,849	128,849
非支配株主持分	824,552	797,677
純資産合計	23,167,236	23,110,659
負債純資産合計	40,541,227	42,396,775

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	9,228,281	9,036,740
売上原価	6,302,735	6,311,676
売上総利益	2,925,546	2,725,064
販売費及び一般管理費	2,112,757	2,381,801
営業利益	812,789	343,262
営業外収益		
不動産賃貸料	113,729	111,133
為替差益	11,070	190,207
その他	112,317	14,413
営業外収益合計	237,118	315,754
営業外費用		
不動産賃貸費用	81,840	81,969
その他	13,802	26,300
営業外費用合計	95,642	108,269
経常利益	954,265	550,746
税金等調整前四半期純利益	954,265	550,746
法人税等	311,317	296,895
四半期純利益	642,947	253,851
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,842	△12,139
親会社株主に帰属する四半期純利益	640,105	265,990

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	642,947	253,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,117	1,462
繰延ヘッジ損益	21,663	79,908
為替換算調整勘定	349,060	87,023
退職給付に係る調整額	107	798
その他の包括利益合計	383,949	169,193
四半期包括利益	1,026,897	423,044
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,014,932	429,083
非支配株主に係る四半期包括利益	11,964	△6,039

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	テストソリューション事業	半導体 設計関連事業	システム・ サービス事業	計		
売上高						
テスター	2,426,382	—	—	2,426,382	—	2,426,382
STAr Technologies	1,143,354	—	—	1,143,354	—	1,143,354
EDA他	—	1,993,736	—	1,993,736	—	1,993,736
三栄ハイテックス	—	872,412	—	872,412	—	872,412
モーデック	—	78,809	—	78,809	—	78,809
組込みシステム他	—	—	540,304	540,304	—	540,304
アイティアアクセス	—	—	1,141,652	1,141,652	—	1,141,652
ガイオ・テクノロジー	—	—	831,201	831,201	—	831,201
レグラス	—	—	200,428	200,428	—	200,428
顧客との契約から生 じる収益	3,569,736	2,944,958	2,713,586	9,228,281	—	9,228,281
外部顧客への売上高	3,569,736	2,944,958	2,713,586	9,228,281	—	9,228,281
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,012	396	6,409	△6,409	—
計	3,569,736	2,950,970	2,713,983	9,234,691	△6,409	9,228,281
セグメント利益	527,913	165,128	336,388	1,029,430	△216,640	812,789

(注) 1. セグメント利益の調整額△216,640千円は、セグメント間取引消去2,815千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△219,976千円及び棚卸資産の調整額519千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	テストソリューション事業	半導体 設計関連事業	システム・ サービス事業	計		
売上高						
テスター	1,823,519	—	—	1,823,519	—	1,823,519
STAr Technologies	1,385,152	—	—	1,385,152	—	1,385,152
EDA他	—	2,320,177	—	2,320,177	—	2,320,177
三栄ハイテックス	—	929,347	—	929,347	—	929,347
モーデック	—	94,175	—	94,175	—	94,175
組込みシステム他	—	—	422,630	422,630	—	422,630
アイティアアクセス	—	—	1,248,783	1,248,783	—	1,248,783
ガイオ・テクノロジー	—	—	751,741	751,741	—	751,741
レグラス	—	—	61,211	61,211	—	61,211
顧客との契約から生じる収益	3,208,672	3,343,700	2,484,367	9,036,740	—	9,036,740
外部顧客への売上高	3,208,672	3,343,700	2,484,367	9,036,740	—	9,036,740
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	3,134	3,134	△3,134	—
計	3,208,672	3,343,700	2,487,502	9,039,875	△3,134	9,036,740
セグメント利益	150,865	164,081	191,490	506,437	△163,175	343,262

(注) 1. セグメント利益の調整額△163,175千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△163,834千円及び棚卸資産の調整額658千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、(セグメント情報)に記載のとおりであります。